



**最賃ローカル
ビックアクション**

全労連が呼びかけた最賃ローカルビックアクション(全国統一行動)は、4月10日を中心に4つの地域(大阪市・豊能・河南・北摂)で宣伝がとくまれ、「全国一律最賃制度を」「最賃1500円以上の実現を」と訴えました。



**カジノの中止・撤回
署名2万筆以上提出**

4月11日、カジノに反対する大阪連絡会は、カジノ計画の中止・撤回を求め要請署名2万4026筆を提出し、IR推進局と協議を行いました。国が認定の際に「双方向の対話」を尽くすように求めているにもかかわらず、対応した担当者は聞くだけの姿勢に終始しました。



**危険な夢洲での万博を中止！
大阪府市へ公開質問状を提出**

明るい会は4月16日、吉村知事と横山市長に対する公開質問状を万博推進局に提出し、ガス爆発事故が発生するなど「危険な夢洲での万博を中止すべき」と要請して、誠意ある文章での回答を求めました。

**輝け憲法！平和といのちと人権を！
おおさか総がかり5.3憲法集会**



5月3日、扇町公園で「おおさか総がかり憲法集会」が開催され5千人が参加。主催者挨拶で憲法会議の丹羽徹幹事長は「憲法9条改悪を許さず、憲法を守り生かす努力を続けよう」と訴えました。最後に参加者全員で「守ろう憲法」のポテッカーを掲げ、集会後に大阪市内をパレードしました。



大阪医労連新人歓迎会

**職場での総対話で
なかまを増やそう**

それぞれの組織では組織拡大を最重要課題として、職場ですべての労働者への声かけ(総対話)や新人歓迎会開催、各種

研修会あとの新歓宣伝など積極的にいうことを推進しています。また、大阪労連では、単産や単組が行う組織拡大宣伝には地域組織にも参加を呼びかけます。地域と単産が一体となって組織拡大・強化をとりくみましょう。

全労連が呼びかけた、能登半島地震支援ボランティアの第1弾(4月5日〜7日)に参加しました。1日目の5日には、能登最北端の珠洲市に入りました。道中の自動車専用道路「のと里山街道」は崩壊している箇所や復旧作業が続いていたため未だに下りの一方通行でした。放置された車がそのままになっている場所もありました。そして、珠洲市内に入ると倒壊した家屋も多数見受けられました。

支援などで珠洲市・輪島市・能登町・内灘町に入りましたが、地震発生から3ヵ月が過ぎ、あちこちに倒壊したままの家がそのままになっていました。輪島市・五島ビルや朝市通りは、震災当初様々なメディアでも紹介

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

**各組織で
新人歓迎会を開催**

医労連では、4月17日に4年ぶりの飲食を伴う歓迎会を開催しました。各加盟組織の紹介の後、青年部によるゲーム大会で盛り上がりました。最後に今後の青年部企画や関西ブロックアクト(青年のブロック交流会)の案内をし、参加を呼びかけました。

自治労連では、枚方市職労が4月5日に新入職員歓迎会を開催。職員会館の会議室で軽食を準備し、マッティングゲームや輪くぐりゲームなどで盛り上がり、先輩や同期との歓談で交流を深めました。岸和田市職労は、4月1日に組合加入の説明会を開催。青年部が大型紙芝居を使って「自分の労働環境を守るためにも、組合に加入し、私たちと一緒に働きやすい職場にしていきたい」と呼びかけ58人が加入しました。また、転職した組合員の情報を転職先の組合に紹介して組織拡大につなげています。



岸和田市職労新入職員説明会

**職場ですべての
労働者に声かけて
組織拡大を**

各職場では、新しい職員や社員が配属されてから1ヵ月以上がたちました。まだまだ仕事に慣れていない方が多いと思います。仕事や職場での悩みを聞きながら、労働組合を知らせ加入を呼びかけていきましょう。各組織では、新歓などのとりくみが多彩に行われています。



第95回大阪メーデー

(1面のつづき)

政党からの挨拶に続き、3つの団体から決意表明がありました。

大阪歯科保険医協会の丹羽野穂香さんは「マイナ保健証を使用するとトラブルが多発。医療機関

は患者に紙の保健証を持参するように呼びかけているが、(そもそもマイナ保健証が問題なのに)国は医療機関が悪いように言っている。そのことで患者と医療機関の信頼関係を破壊しかねない。私たちは誰もが困らないように紙の保健証を残すように運動していく」、新日本婦人の会大阪府本部の楠恵さんは「万博建設現場で爆発事故が

発生した、そんな危ないところへ学校行事としての見学をやめるように各自治体や教育委員会に申し入れを行っている。あらためて府の教育委員会にも申し入れを行う予定。引き続き万博中止を求める署名目標を達成するために頑張る」、自交総連の庭和田裕之さんは「日本型ライドシ

エアでは安心・安全が保たれないことを利用者が国民の皆さんに知ってもらいたい。規制緩和によって大量輸送機関(鉄道・路線バスなど)を壊しておきながら個別輸送機関のタクシーでは補えないとの理由で、ライドシェアを導入することは間違っている。特に大阪は万博の観光客のためにラ

イドシェアを導入すると言っている。また、ライドシェアは労働基準法から除外されるギグワークで働く労働者が増えることにもなる。ライドシェア反対を掲げ運動を広げると力強く訴えました。

メーデースローガンに続き、女性部の廣田智美さんが力強くメーデー宣言を読み上げ、満場の拍手で採択されました。デコプラコンテストでは、創意を凝らしたデコレーション

デコレーション部門	
1位	医療福祉生協労組おおさか鶴見分会
2位	医療福祉生協労組おおさか豊中分会
3位	年金者組合
3位	医療福祉生協労組おおさか加納分会
プラカード等部門	
1位	西淀川医療労組
2位	北大阪総合法律事務所
3位	大阪自治労連
3位	医療福祉生協労組おおさか豊中分会

最後に団結カンパローの唱和で締めくくり、2コースに分かれて大阪市内を元氣よくデモ行進しました。